

# 愛知民報

2016年  
10月2日  
第2323号

発行所 愛知民報社  
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号  
愛知あかつき会館内  
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063  
定価 月400円 郵送料164円 1部100円  
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)  
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を  
周りの人に

# リニア残土瀬戸へ

# ダンプ1100台 環境悪化、住民不安

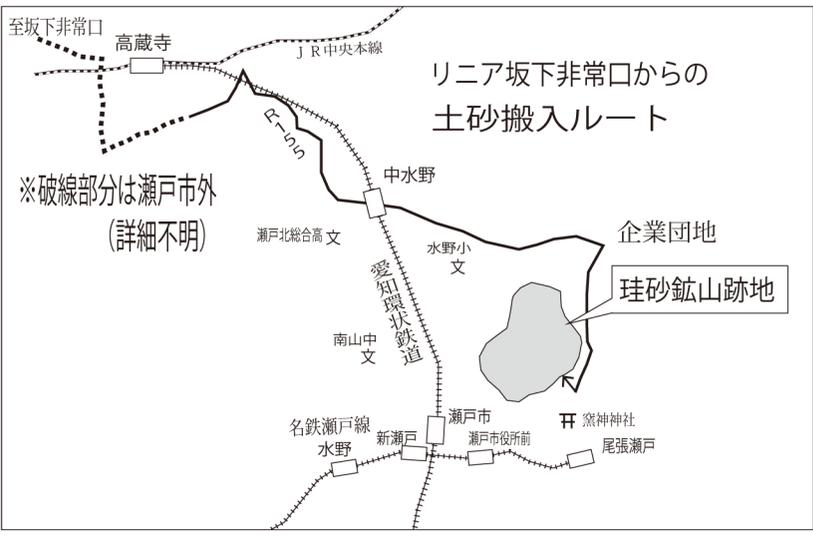
JR東海が2027年度に品川―名古屋間の開業をめざすリニア中央新幹線のトンネル建設工事で発生する大量の残土の一部がガラスの原料を採掘する瀬戸市内の珪砂(けいしゃ)鉱山の埋め戻しに使われる計画が明らかになりました。9月21日、瀬戸市が同市議会の全員協議会に報告しました。今回、同市に運ばれるのは、春日井市の坂下非常口新設工事で発生する10万立方メートルの土砂。期間は来年初めから19年中ごろまで。ダンプカーの台数は最大で1日片道100台。運行時間帯は朝8時半から夕方5時。約5分に1台の計算です。交通渋滞、騒音、振動などの生活環境悪化が懸念されています。

## 片側1車線

本紙記者は9月24日、JRが明らかにした土砂搬入ルートに乗車で試走しました。春日井市内のルートはまだ明らかにされていませんが、坂下非常口の南に位置する東名高速道路春日井インターチェンジ付近から国道155号線を瀬戸方面に向かいました。同線は片側1車線。春日井市内は主に市街地。ロードサイド型商業施設やマンションが立ち並んでいます。「春日井リニアを問う会」事務局の川本正彦さんは「国道155号線は、渋滞が頻発するルート。特に庄内川支流の内津(うつつ)川に架かる出川橋や庄内川を渡る新東谷橋は混雑します。ダンプカーが走ればもっと混雑します」と指摘します。



リニア工事で発生する土砂を輸送するルート。片側1車線で交通量が多い。24日、瀬戸市愛知環状鉄道中水野駅前



春日井市と瀬戸市の境界付近は合すじを走ります。カーブがきつくと、見通しが悪いところもあります。通学路が交差



「瀬戸のグラウンドキャニオン」と呼ばれる露天掘りの珪砂山(上方)。坂下非常口分だけ1日100台分の土砂が搬入される予定。24日、瀬戸市

の南側は名鉄尾張瀬戸駅に近い建物が密集した地域。小高い丘のてっぺんにある薬師神社から「瀬戸のグラウンドキャニオン」と呼ばれる露天掘りの現場を遠望できます。日本共産党の浅井ことみ瀬戸市議は「企業団地につながる道路です。水野小学校へ向かう通学路が交差しており、ダンプカーが増えれば交通事故が心配。渋滞を避けた車が周辺の生活道路にあふれる可能性もあります」と指摘します。

## 安倍政権 公的資金3兆円 「全額JR負担」ウソ 赤字必至

安倍自公政権は9月26日開会の臨時国会に、リニア中央新幹線の大阪への延伸(45年)を8年前倒しするため財政投融資1・5兆円を盛り込んだ補正予算案を提出しました。来年度予定される1・5兆円を合わせることで3兆円です。国債の一種である財

9月23日には、沿線住民が工事実施計画の取り消しを求めた訴訟の第1回口頭弁論が東京地裁でおこなわれました。日本共産党は採算面、安全面、環境面でも問題の多いリニア計画の撤回を要求。比例東海ブロック選出の本村伸子衆院議員(国土交通委員)らが臨時国会での論戦に挑みます。

リニアストップ学習交流会  
11月6日(日) 午前10時  
名古屋市教育館(栄)  
主催：日本共産党愛知県委員会